

CoCoICHI Report

ココイチレポート

株式会社 壱番屋 (証券コード:7630)

第36期〔上期〕

平成29年3月1日～
平成29年8月31日



手仕込
とん
豚ビレ勝つカレー

12月からの
新メニュー

ローストチキン
スープカレー

ベーコンエッグポテトサラダ

会社概要

所在地：〒491-8601 愛知県一宮市三ツ井六丁目12番23号
TEL 0586-76-7545 (大代表)
設立：昭和57年7月1日
資本金：15億3百万円
従業員数：1,324名(平成29年8月末)
店舗数：1,456店舗(平成29年8月末)(海外を含む)

役員

代表取締役社長：浜島 俊哉
専務取締役：河合 尚也
常務取締役：細野 修二
取締役：宮崎 龍夫
安達 史郎
監査等委員である取締役：山口 正弘
織田 幸二(社外)

阪口 裕司
葛原 守
杉原 一繁
石黒 敬治
大澤 善行(非常勤)
内藤 充(社外)
春馬 葉子(社外)

株式の状況

(平成29年8月末現在)

発行可能株式総数：115,200,000株
発行済株式の総数：31,926,000株(自己株式538株を含む)
株主数：20,288名

■大株主(上位10名)	株主名	所有株式数	持株比率
	ハウス食品グループ本社株式会社	16,282,200株	51.00%
	株式会社ベストライフ	1,056,200株	3.31%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	930,900株	2.92%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	896,000株	2.81%
	株式会社トーカン	700,000株	2.19%
	THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	657,800株	2.06%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	579,100株	1.81%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	256,500株	0.80%
	浜島 俊哉	241,600株	0.76%
	JP MORGAN CHASE BANK 380634	233,600株	0.73%

株主優待制度のご案内

毎年2月末と8月末時点の株主名簿に記録された株主様には以下のとおり「株主様ご飲食優待券」を贈呈いたします

所有株式数	贈呈額	所有株式数	贈呈額
100株以上	1,000円相当 (年間 2,000円相当)	1,000株以上	6,000円相当 (年間12,000円相当)
200株以上	2,000円相当 (年間 4,000円相当)	2,000株以上	12,000円相当 (年間24,000円相当)

お問い合わせは 無料ダイヤル ☎0120-860-188

株主メモ

事業年度
3月1日から翌年の2月末日まで
定時株主総会
毎年5月
基準日
定時株主総会の議決権:2月末日 / 期末配当金:2月末日 / 中間配当金:8月31日

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所
〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先(電話照会先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法
電子公告(<http://www.ichibanya.co.jp/>)
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することとする。

上場市場
東証第一部・名証第一部

証券コード
7630
その他(配当金計算書について)
配当金お支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

カレーハウスCoCo壱番屋公式アプリ

お近くの店舗の地図上での検索や、スマホアプリからの宅配注文を行うことができます。また、お気に入りの店をマイショップに登録することもできます。



ココイチレポートおよび当社に関する
ご意見・お問い合わせはこちらまで

<http://www.ichibanya.co.jp/contact.html>

主要業績データ

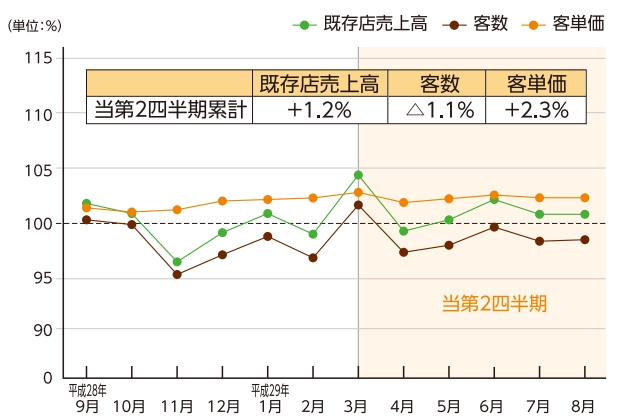
(平成30年2月期 第2四半期)

出店状況

(単位:店)				
当第2四半期 (平成29年3月1日～8月31日)	出店数	退店数	純増	店舗数
CoCo壱番屋	12	3	9	1,258
パスタ・デ・ココ	—	1	△1	34
麺屋ここいち	—	3	△3	6
につくい亭	—	—	—	3
合計	12	7	5	1,301
海外 CoCo壱番屋	4	10	△6	154
MEAT KING	—	—	—	1
国内・海外合計	16	17	△1	1,456

◎出店の状況につきましては、海外で不振店舗の撤退を進めたことから退店が増え、国内・海外合計で1店舗減少し、1,456店舗となりました。

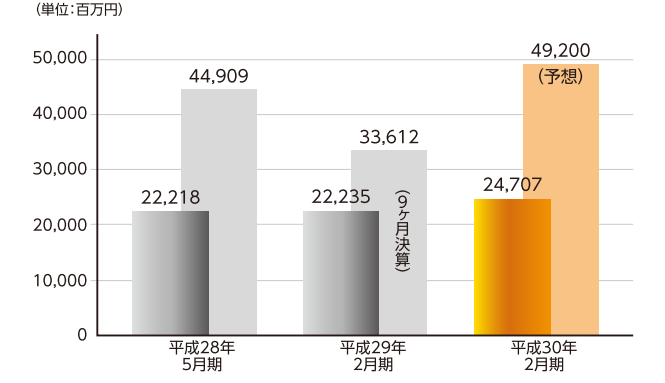
国内既存店売上高推移(前年同月比)



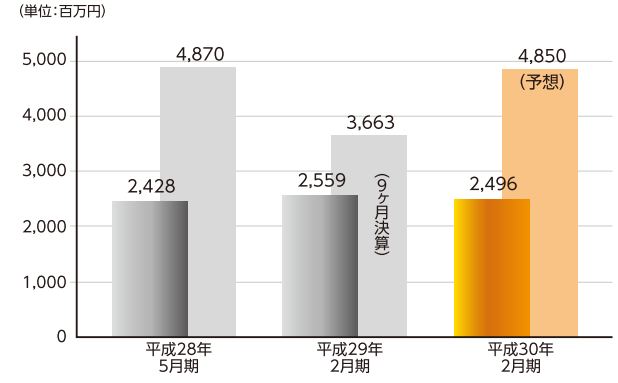
◎平成28年12月より、国内CoCo壱番屋で、地域ごとに順次価格改定を実施しており、客単価は、前年同期間比+2.3%となり、既存店の売上高は前年同期間比+1.2%となりました。

売上高・利益推移

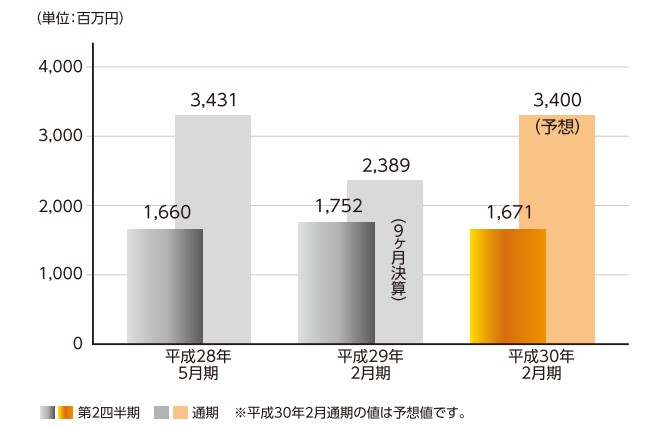
【売上高】



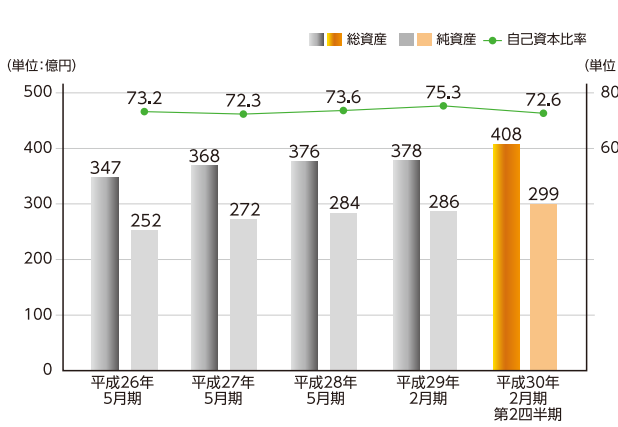
【営業利益】



【親会社株主に帰属する四半期純利益】



総資産・純資産・自己資本比率



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご支援とご厚情を賜り、
心よりお礼申し上げます。

代表取締役社長
浜島 俊哉

第36期上期の概況

第36期上期(平成29年3～8月)の連結業績は、売上高247億7百万円、営業利益24億96百万円、経常利益25億52百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益16億71百万円となりました。前期は、9ヶ月間の変則決算であったため、前期実績との比較は行っておりませんので、ご了承ください。

当上期の国内COCO壱番屋事業におきましては、引き続き「既存店の売上強化」を最重要課題とし、店舗のQSCを向上させることに注力してまいりました。期間限定メニューの投入や各種販促等を本部施策として実施した他、各店舗が独自に行うストアレベルマーケティングによる、店舗ごとのオリジナル施策にも取り組んでまいりました。

国内のその他の業態につきましても、QSCの向上や新たなメニュー開発等によって、来客数・売上の増加に努めてまいりました。その中で、カレーらーめん業態の「麵屋こいち」につきましては、店舗で提供しているカレーらーめんを、既存のCOCO壱番屋の店舗に導入する取り組みを進めております。導入店舗数は、当上期中に20店舗増えて44店舗となりましたが、これらの店舗では、従来の売上にカレーらーめんの売上が、ほぼそのまま上乗せされており、既存店の売上強化に貢献しております。

海外事業につきましては、平成29年3月に、中国と台湾でCOCO壱番屋を運営するハウス食品グループの事業会社を子会社化いたしました。

所期の目的であるグローバルシナジーの発揮に向けて、これまで以上にQSCの向上や経営理念の浸透等の店舗運営能力の向上を目指し、より多くのお客様にご利用いただけるよう努めております。店舗数は、時的に減少いたしました。が、足腰を鍛え直してさらなる飛躍を目指してまいります。



また、今後の海外での店舗展開といたしましてベトナム・ホーチミンとイギリス・ロンドンでの新規出店に向けて準備を進めており、できるだけ早く1号店をオープンしたいと考えております。また、その他のエリアも含めまして、今後も積極的な展開を進めてまいります。

世界中のお客様にカレーライスを

当社は、創業以来、お客様の幅広いご要望にお答えするために、ライス量や辛さ・甘さ等が選べるシステムを導入し、新しいメニューの開発にも積極的に取り組んでまいりました。また、アレルギーマッチの方や、ベジタリアンの方向けのカレーの導入等も進めてまいりました。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、海外からのお客様がますます増加することが見込まれております。より多くのお客様に日本の国民食であるカレーライスを、お楽しみいただけるよう、ムスリム(イスラム教徒)の方が安心してご利用いただけるハラル対応店舗のCOCO壱番屋を平成29年9月、東京・秋葉原にオープンいたしました。使用する全ての食材はもちろんのこと、配送方法等にいたるまで完全にハラルに対応し、認証を取得いたしました。

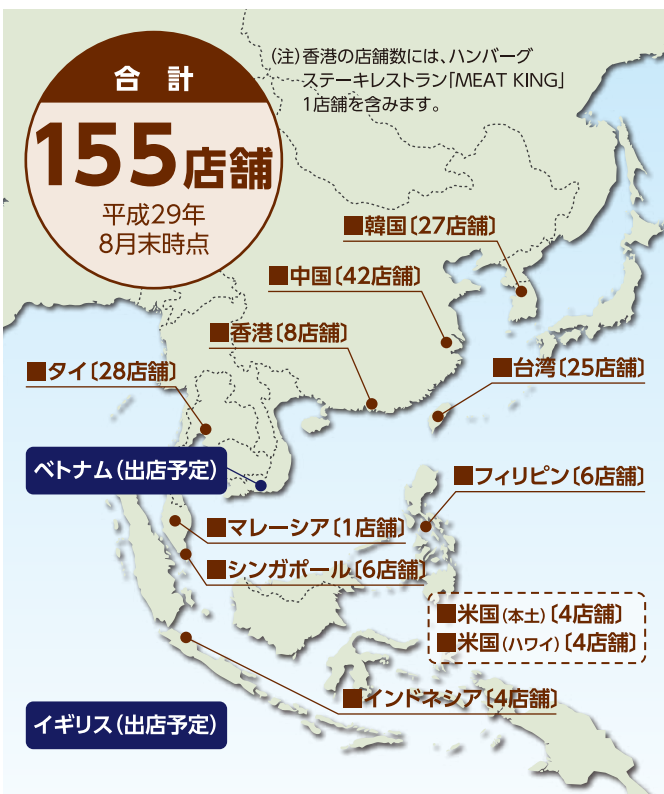
国内外で、当社店舗をご利用いただいたことがないお客様は、まだまだ数多くいらっしゃいます。今後も新たな市場を開拓し、世界のさまざまな国々で新規顧客を創造していくために、幅広く試行錯誤を続け、世界中のお客様に美味しいカレーライスを届けたい。「カレーのインフラ企業を目指してまいります。」

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

海外事業

当上期には、中国、台湾において不振店舗の撤退を進めたこと等から、店舗数が6店舗減少したものの、既存店舗の売上は堅調に推移しております。

通期での店舗数は、前期末より2店舗増加する見込でございます(出店予定のベトナム、イギリスは含まず)。



外販事業

カレー味のお菓子やカップ麺、冷蔵・冷凍食品等を食品メーカー様やコンビニエンスストア様等と共同開発しており、当社はロイヤルティ収入等を得ております。

当上期には、カレー味の「柿の種」やスンドubuチゲ鍋スープ等、20種類の新商品を含む合計38種類の商品が販売されました。

株式会社インシー様

亀田製菓株式会社様



その他業態

あんかけスパゲッティ
パスタ壱ココ

34店舗

らーめん
麺屋こいち

6店舗

鉄板ハンバーグ
にっく

3店舗

メニュー展開

期間限定メニューの定番として、手仕込シリーズでは、国産鶏のささみを使用した「手仕込ささみカツカレー」219万食と、牛100%のミンチ肉を使用した「手仕込牛メンチカツカレー」124万食を販売いたしました。

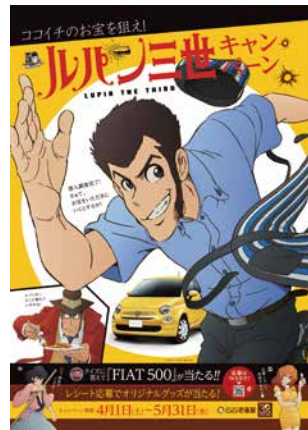
また、夏場の定番メニューとして、トマト、アスパラ、ナス、オクラがたっぷり入った「チキンと夏野菜カレー」を130万食販売した他、これまでは主に冬場のメニューであったスープカレーを2種類投入し、6ヶ月で172万食を販売しました。より多くのお客様に「コイチのカレー」をお楽しみいただけるよう、幅広い商品ラインアップといたしました。



販促キャンペーン

主な販促キャンペーンとして、4～5月にはルパン三世とのコラボキャンペーンを行い、オープン懸賞でイタリア車が当たる企画を実施しました。

夏休み期間中に実施した、機動戦士ガンダムとのコラボキャンペーンでは、コイチオリジナルのプロモデルが抽選で当たるなど、ガンダムファンの方に喜んでもらえるような景品を揃えました。



ハラル対応店舗オープン



名古屋市内に開園したレノランドに隣接する商業施設「マイカース・ア」内に、COCO壱番屋の店舗をオープンいたしました(平成29年3月)。お子様用の店舗の帽子・制服を着用して、親子で接客やカレーの盛り付け等を体験いただける施設を併設した全国初の店舗です。

週末や夏休み期間を中心に、多くのお客様にご利用いただいております。



平成29年9月、東京・秋葉原にハラル秋葉原店をオープンいたしました。これまで「コイチ」をご利用いただけなかったムスリムの方にも、安心してご来店いただき、日本のカレーライフを楽しんでいただけるようになりました。

ハラル食材を使用した10種類のトッピングを取り揃え、他の「コイチ」と同様に、量や辛さと合わせて、自分好みのカレーを選べるシステムとなっております。